

海外で実務訓練を行った理由

研究室と滞在先の研究所が共同研究を行っており、研究所で現地の研究員と意見交換をし、これからの共同研究について話し合い、実際に協力して研究を行うことで研究内容をより充実したものにするため

実務訓練先機関の紹介・実習

私たちの研究室では、たんぱく質やリガンド、金属などを対象に分子シミュレーションを行っており、向こうの研究所では、たんぱく質等はもちろん、遺伝子や有機物のシミュレーションと、その結果を基に実際に試料を作成し、実験を行っている。

現地での生活

用意された寮から研究所まで、バスとメトロ(地下鉄)を使い、片道1時間半で通勤していた。現地では最低気温が -20°C になることもあり、日本では経験できない環境で生活していた。気温はかなり低かったが、全ての建物で暖房設備がしっかりしており、全体的にはそこまで寒いと感じなかった。現地での通貨はグリブナ(1グリブナ=約4.4円)を使用していたが、パン1つが3グリブナほどで日本に比べて物価はかなり安かった。

海外実務訓練を考えている学生へ

飛行機のオーバーブッキングや荷物の喪失などさまざまなトラブルを経験しましたが、そういったことが発生した場合には泣き寝入りをしたりせず、英語に自信がなくてもスタッフに確認したり、場合によっては賠償金を請求する必要があります。また、現地の知らない人物が話しかけてきたときははっきり断る勇気を持つとトラブルに巻き込まれずにすみます。

